

平成24年7月6日

平成24 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加した。前年とほぼ同じ程度となり、平年(15.2個/曳網)の1.7倍であった。

前年	平成23年7月6日	(7点の平均)	29.1 個
前回	平成24年6月20日	(17点の平均)	7.5 個
今回	平成24年7月4日	(7点の平均)	25.7 個

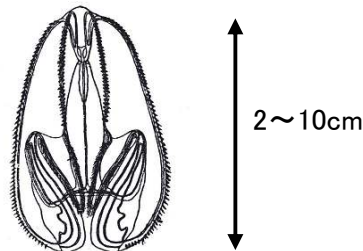
○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より減少した。前年および平年(4.1尾/曳網)より少なかった。

前年	平成23年7月6日	(7点の平均)	3.0 尾
前回	平成24年6月20日	(17点の平均)	6.1 尾
今回	平成24年7月4日	(7点の平均)	1.7 尾

○プランクトン調査

カブトクラゲがすべての点で優占種していた。餌として重要なカイアシ類の量は非常に少ない。



カブトクラゲ

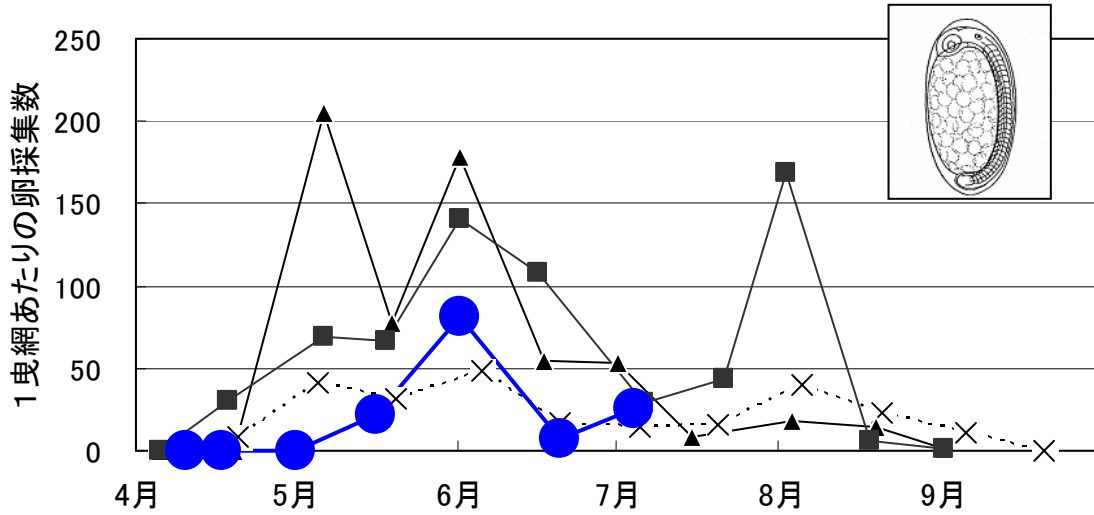
次回の調査は7月19日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(7.4)

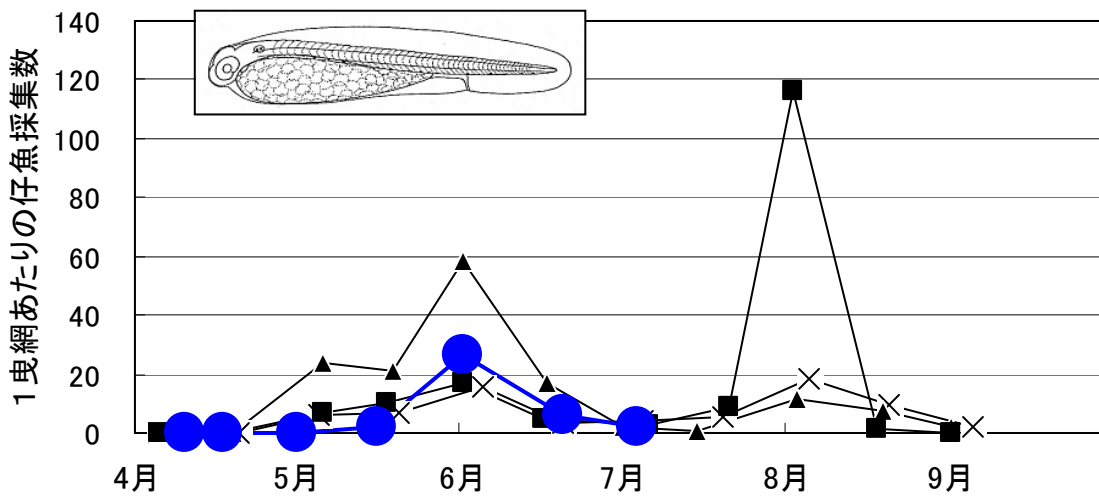
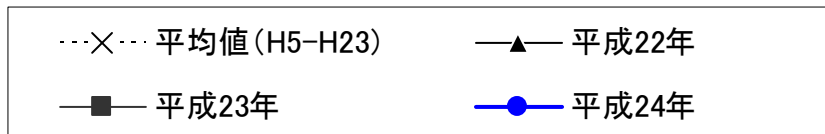


●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

